

2015年11月 24 日
東京工芸大学

東京工芸大学 芸術学部マンガ学科 全国規模(各都市)で開催する「『描く!』マンガ展」を協賛

東京工芸大学（学長：若尾真一郎、所在地：東京都中野区 以下、本学）の芸術学部マンガ学科は、全国規模で各地の美術館、ミュージアムが初めて開催する「『描く!』マンガ展」の開催の企画協賛を行うとともに、本学マンガ学科准教授の伊藤 剛は、本展覧会の監修を務めます。

「『描く!』マンガ展」は、入場者数約2万人と好評を得た今夏の大分会場での開催を皮切りに、11月～来年1月の北九州会場、2月～4月の高崎会場、続いて、2016年度の予定として東海地方、首都圏、関西圏など全国の都市を巡回する形で開催されます。マンガの「表現」「技術」に着目することで、美術館での「マンガ展」に新しいページを開いた展示です。

【描く!マンガ展の概要】

日本人は、プロの作家のみならず、実に多くの方が「絵」を描いています。マンガ読者の多くは、愛好するマンガ作品の「絵」をまねて自らも「描く」という体験を一度はしています。このような「描く読者」が厚い層として存在し続けてきたことが、現代マンガの隆盛を支えてきたと言っても過言ではありません。次世代の才能がいつも人々の「描く」という営みの中から現れてきたことは、マンガの文化的「強み」でもあります。

本展覧会は、マンガを「描く読者」たちの存在と、かつては「描く読者」であったマンガ家たちの優れた技術との架け橋となることを目指しています。

「マンガを描く」営みの豊かさを原画、資料、映像等により体験的に展覧し、より深いマンガの理解、支持層の拡大、次世代のクリエイターの育成をはかるものです。

【主 催】 開催都市の開催美術館、ミュージアム

【開催期間】 2015年夏～2016年度末 全国各都市6会場の予定

【監 修】 伊藤 剛（東京工芸大学マンガ学科准教授・マンガ評論家）

【後 援】 開催地都道府県、市町村、教育委員会等

【企画協力】 アートプランニングレイ、手塚プロダクション

【企画協賛】 東京工芸大学芸術学部マンガ学科、京都精華大学

【協 賛】 (株)ウェブテクノロジー・コム、(株)セルシス、(株)ワコム

【展示内容】 以下のとおり（各会場により展示内容に多少の差異はあります。）

第1章 すべての夢はペンと紙からはじまる1枚の紙とペンからはじまる

不朽の名作を生み出し、今も愛され、読まれ続ける巨匠作家の子ども時代やデビュー前後の作品を展示します。手塚治虫を主軸としながら、各作家がいかに関心の表現に憧れ、影響を受けて自らのスタイルを築きあげたのかを、同時代の出版物や資料から紹介します。

《出品作家》手塚治虫、石ノ森章太郎、水野英子、U・マイア、赤塚不二夫、藤子不二雄[Ⓐ]

注) 手塚治虫氏の「塚」の字は旧字の「塚」です。（ツクリに点が入ります）
石ノ森章太郎氏の「ノ」は半角です。

第2章 名作の生まれるところ — マイスターたちの画技を読み解く

現代マンガの最前線を走るマンガ家8名の作品をご紹介します。

各作家独自の描線や画面構成としての「技術」を原画と大きなパネル等で提示し、多くの人々に迎えられたヒット作品の数々がどのように生まれてきたのか、解説を交えて展示します。同時にその技術や作品を育んだコミュニティやバックグラウンドとしての「環境」を、映像や資料により紹介し、マンガ史における多様な表現と、その表現を生み出したさまざまな媒体を一堂に概観します。

《出品作家》

さいとう・たかを、竹宮恵子、陸奥A子、諸星大二郎、島本和彦、平野耕太、
あずまきよひこ、PEACH-PIT

第3章 「描く」ちからは未来へつづく

「技法書」「web」「デジタル技術」「教育」を軸に、さまざまな「描く」ツールや手法を紹介し、あわせて来館者が制作・参加するコーナーを設けるなど、「描く」行為を実際に体験できる展示空間です。

《展示内容》

マンガ技法書、描き方セットなど

Pixiv「みんなの新着作品」画面リアルタイム・プロジェクション

『コミPo』『クリップスタジオ』などのデジタル作画体験

同人誌即売会出展ブース（再現）、マンガ学部・マンガ学科紹介

【展覧会開催の予定】 ※開催会場、期間の詳細等は、改めてお知らせいたします。

大分市（大分県立美術館）・・・終了 開催期間：2015年8月1日～9月23日

北九州市（北九州市漫画ミュージアム） // :2015年11月21日～2016年1月24日

高崎市（高崎市美術館） // :2016年2月11日～4月10日

2016年度 東海地方、首都圏、関西圏

本学は、国内でも規模の大きなマンガ学科を有する大学として、マンガ家デビューほか就職などの実績を上げてきています。教員によるマンガ展の監修は、実作教育のみならず実作と結びついたマンガ研究の成果のひとつといえます。本学は、今後ともこのように世界的にマンガの普及と理解促進のために尽くしてまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

東京工芸大学 学事部 広報課 電話：046-242-9600 / FAX：046-242-9638

担当：佐藤／田川

e-mail：pr@office.t-kougei.ac.jp